

# 九州大学

# 2022

大学院工学研究院・大学院工学府・工学部

## CONTENTS

挨拶	01
組織運営体制	03
教育・研究組織	04
組織紹介	05
教職員数・学生数	07
学位授与状況・進路状況	08
国際交流	09
財務状況	10
沿革	11
キャンパスマップ	13
アクセスマップ	裏表紙

FUKUOKA  
JAPAN





九州大学大学院工学研究院長・大学院工学府長・工学部長

園田 佳巨

—昨年から続く新型コロナウイルスの影響もようやく沈静化に向かいつつあるようです。あいかわらず新規感染者数は高止まりしておりますが、重症化率が大きく低下したことで、今年のゴールデンウィーク期間は特段な行動制限もなく過ごすことができました。大学においても、新年度の4月からコロナ以前のような対面による授業を基本に行っております。夏休みに予定していた豪州クイーンズランド大学への短期留学プログラムに関しては、残念ながら大学本部の許可が下りていないためオンライン研修に変更せざるを得ない状況ですが、今年度中には海外現地留学も復活できると期待しております。あともう少しの辛抱です。学生諸君には、日頃の感染症対策を遵守励行し、自らの健康を守ると同時に周囲の方への感染リスクも低減させるようお願いいたします。

ところで、今年2022年は、COVID-19の影響が残る最中にロシアによるウクライナ侵攻という世界を震撼させる新たな事態が生じ、この原稿を書いている5月上旬においても両国間の軍事衝突は続いております。この新たな事態によって、我々は改めて世界の秩序と繁栄は脆いもので、異なる信条・価値観を有する多くの国家・人々の間の相互理解と信頼という基盤が不可欠であることを痛感させられました。

我々が学ぶ工学には人々の暮らしを便利で豊かなものに変革できる力があります。しかし、テクノロジーが活かされるには、平和な世の中が維持されていることが前提であることは言うまでもありません。工学部学生の皆さんには、専門科目を学ぶに際して修得した知識・技術が世の中にどのように活用され、社会にどのような便益がもたらされるかを意識と同時に、海外留学等の機会を積極的に利用して異国の文化や価値観の理解にも努めて欲しいと思います。

九大工学部には、海外の高校から進学してくる学士課程国際コースが10年ほど前から設置されており、毎年厳しい競争倍率(昨年度は7倍)を勝ち抜いた留学生約20名が入学しています。大学で異文化に触れる機会が得られることを期待している高校生の皆さんには、彼らと交流できる環境が整っておりますのでその希望が叶う九大工学部で学ぶことをお勧めします。

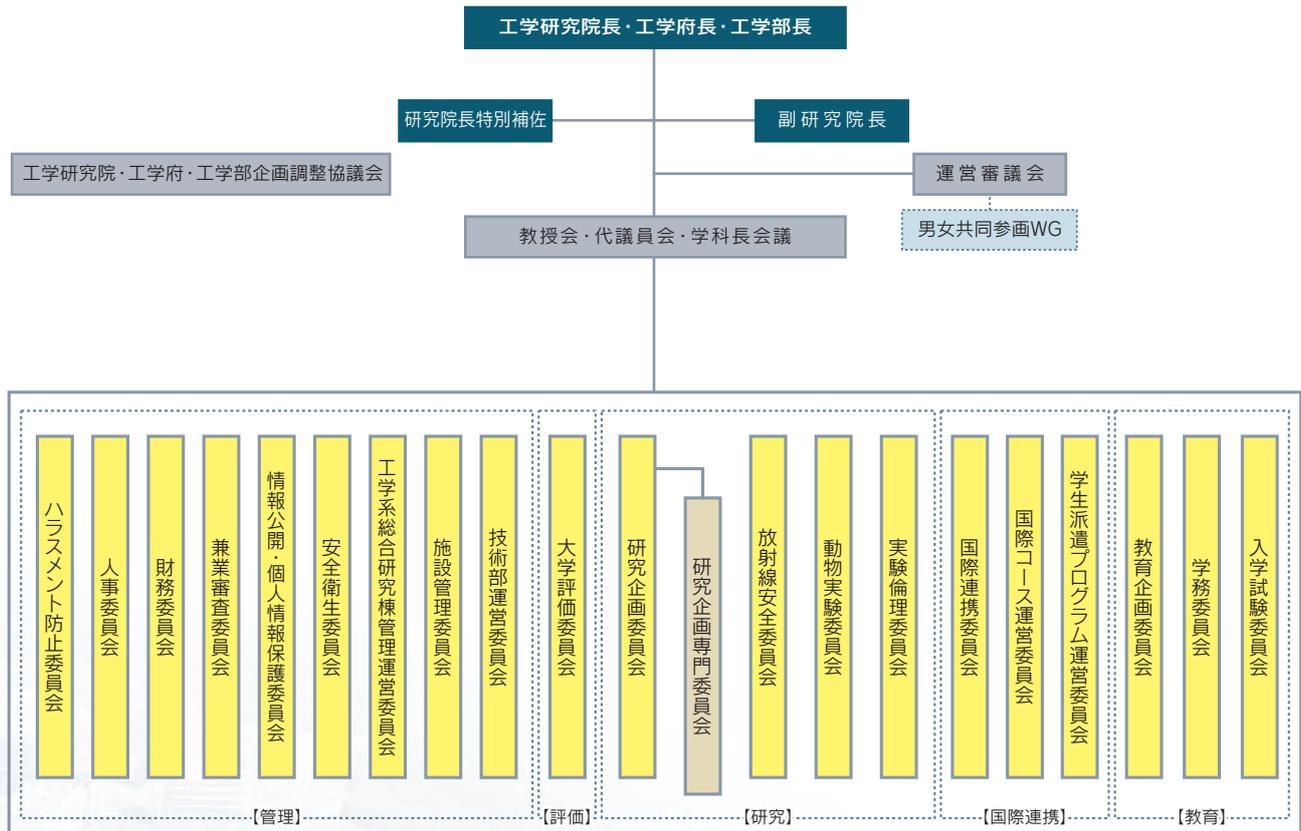
九州大学工学部は、令和3年度に従来の大学科・コース制から専門分野が明確な12学科へと改編しました。今年の夏に第1期生の学科配属が行われますが、学生諸君にはどの学科に配属されても工学の教育理念は同じであること、それぞれの学科が我が国の関連分野の産業技術の根幹を支えていることを認識し、次世代の同分野の発展を担う気概を持って学び続けていただきたいと思います。現在、九州には日本の半導体産業の拠点形成の動きや脱炭素化に向けた洋上風力発電産業の育成などの様々な新しい構想が練られておりますが、我々は九州地域の企業・自治体・他大学等と連携して、これらの構想を支えて参りたいと考えております。

九州大学工学部は、1911年(明治44年)に九州帝国大学工科大学として創立され、日本で有数の長い歴史を有しています。その後、1919年(大正8年)に九州帝国大学工学部、1947年(昭和22年)に九州大学工学部となり現在に至りますが、これまでに50,000名を超える卒業生を送り出し、我が国の工学・技術・産業の発展に貢献してきました。今後も、我々の基礎教育重視の姿勢は変わりませんが、それだけでなく、国際的に活躍できるグローバル人材、世界をリードできる高度な技術者・研究者の育成に努めて参りたいと考えております。

九州大学伊都キャンパスは、日本で最大規模の広さと世界最先端の設備を完備した、世界でも有数の大学施設です。工学部・工学府・工学研究院は、この恵まれた施設を最大限に活用し、世界に誇れる教育・研究を行って参ります。産業界の方々、行政の皆様、保護者・卒業生そして市民の皆様にも、私共の精神に共感いただき、ご支援を賜りますようよろしくお願い致します。

令和4年5月1日現在

## 運営組織



## 執行部、部門長、専攻長、学科長等

令和4年5月1日現在

### 執行部

研究院長／学府長／学部長	園田 佳巨
副研究院長(総務担当)	山本 元司
副研究院長(研究担当)	中島 邦彦
副研究院長(教育担当)	岸田 昌浩
副研究院長(国際担当)	田中 敬二

### 工学研究院

化学工学部門長	上平 正道
応用化学部門長	後藤 雅宏
材料工学部門長	田中 將己
社会基盤部門長	笠間 清伸
環境社会部門長	久場 隆広

海洋システム工学部門長	安東 潤
地球資源システム工学部門長	菅井 裕一
エネルギー量子工学部門長	守田 幸路
機械工学部門長	澤江 義則
航空宇宙工学部門長	矢代 茂樹

### 工学府(新専攻)

材料工学専攻長	田中 將己
応用化学専攻長	林 克郎
化学工学専攻長	上平 正道
機械工学専攻長	雫本 信哉
水素エネルギーシステム専攻長	濱田 繁
航空宇宙工学専攻長	矢代 茂樹
量子物理学専攻長	守田 幸路
船舶海洋工学専攻長	宇都宮智昭
地球資源システム工学専攻長	菅井 裕一
共同資源工学専攻長	今井 亮
土木工学専攻長	笠間 清伸

### 工学府(旧専攻)

物質創造工学専攻長	林 克郎
物質プロセス工学専攻長	田中 將己
材料物性工学専攻長	石原 達己
化学システム工学専攻長	上平 正道
建設システム工学専攻長	笠間 清伸
都市環境システム工学専攻長	久場 隆広
海洋システム工学専攻長	宇都宮智昭
地球資源システム工学専攻長	菅井 裕一
エネルギー量子工学専攻長	守田 幸路

### 工学部(新学科)

電気情報工学科長	鶴林 尚靖
材料工学科長	田中 將己
応用化学科長	後藤 雅宏
化学工学科長	上平 正道
融合基礎工学科長	渡辺 幸信
機械工学科長	品川 一成
航空宇宙工学科長	高橋 厚史
量子物理学科長	守田 幸路
船舶海洋工学科長	柳原 大輔
地球資源システム工学科長	菅井 裕一
土木工学科長	笠間 清伸
建築学科長	神野 達夫

### 工学部(旧学科)

建築学科長	山口謙太郎
電気情報工学科長	鶴林 尚靖
電気情報工学コース長	荒川 豊
物質科学工学科長	土山 聡宏
化学プロセス・生命工学コース長	上平 正道
応用化学コース長	後藤 雅宏
材料科学工学コース長	田中 將己
地球環境工学科長	柳原 大輔
建設都市工学コース長	笠間 清伸
船舶海洋システム工学コース長	柳原 大輔
地球システム工学コース長	菅井 裕一
エネルギー科学科長	島ノ江憲剛
機械航空工学科長	安倍 賢一
機械工学コース長	品川 一成
航空宇宙工学コース長	高橋 厚史

### 学科群

I 群長	鶴林 尚靖
II 群長	土山 聡宏
III 群長	品川 一成
IV 群長	柳原 大輔
V 群長	神野 達夫
VI 群長	寺西 亮

### 附属施設

工学研究院附属環境工学研究教育センター長	藤光 康宏
工学研究院附属アジア防災研究センター長	塚原 健一
工学研究院附属国際教育支援センター長	陳 強
工学府附属ものづくり工学教育研究センター長	尾崎由紀子
工学研究院附属小分子エネルギーセンター	小江 誠司
工学研究院附属次世代蓄エネルギーデバイス研究センター長	石原 達己
工学研究院附属次世代経皮薬物送達研究センター長	後藤 雅宏

### 学内共同教育研究センター

超顕微解析研究センター長	村上 恭和
西部地区自然災害資料センター長	塚原 健一
未来化学創造センター長	神谷 典穂
鉄鋼リサーチセンター長	中島 邦彦
分子システム科学センター長	君塚 信夫
医用生体工学研究センター長	工藤 稟
分子システムデバイス産学連携教育研究センター長	安達千波矢
水素エネルギー国際研究センター長	佐々木一成
次世代燃料電池産学連携研究センター長	佐々木一成
水素材料先端科学研究センター長	杉村 丈一
都市研究センター長	馬奈木俊介
最先端有機光エレクトロニクス研究センター長	安達千波矢
次世代接着技術研究センター長	田中 敬二
加速器・ビーム応用科学センター	若狭 智嗣

### 工学部等事務部

事務部長	住田 憲紀
総務課長	山下 和成
学術研究支援課長	平尾 秀文
経理課長	山本 泰庸
教務課長	奥 啓介

### 工学部技術部

部長	園田 佳巨
次長	山本 元司
次長	住田 憲紀
次長	生田 竜也
製作技術室長	平川 裕一
設備・情報技術室長	松尾 政晃
計測・分析技術室長	高尾 隆之

## 大学院工学研究院(研究組織)

材料工学部門  
応用化学部門  
化学工学部門  
機械工学部門  
航空宇宙工学部門  
エネルギー量子工学部門  
海洋システム工学部門  
地球資源システム工学部門  
社会基盤部門  
環境社会部門

共同研究部門

海域港湾環境防災共同研究部門

## 大学院工学府(教育組織)

材料工学専攻  
応用化学専攻  
化学工学専攻  
機械工学専攻  
水素エネルギーシステム工学専攻  
航空宇宙工学専攻  
量子物理学専攻  
船舶海洋工学専攻  
地球資源システム工学専攻  
共同資源工学専攻  
土木工学専攻

## 工学部(教育研究組織)

群	学科
I 群	電気情報工学科
II 群	材料工学科 応用化学科 化学工学科 融合基礎工学科(物質材料コース)
III 群	融合基礎工学科(機械電気コース) 機械工学科 航空宇宙工学科 量子物理学工学科
IV 群	船舶海洋工学科 地球資源システム工学科 土木工学科
V 群	建築学科
VI 群	—

## 大学院附属施設・関連施設

### 工学研究院附属施設

環境工学研究教育センター  
アジア防災研究センター  
国際教育支援センター  
小分子エネルギーセンター  
評価広報室 ※工学部、工学府にも設置  
次世代蓄エネルギーデバイス研究センター

### 工学府附属教育研究施設

ものづくり工学教育研究センター  
国際推進室 ※工学部にも設置

### 工学研究院関連施設

九重地熱・火山研究観測ステーション

### 学内共同教育研究センター

超顕微解析研究センター  
西部地区自然災害資料センター  
未来化学創造センター  
鉄鋼リサーチセンター  
分子システム科学センター  
医用生体工学研究センター  
分子システムデバイス産学連携教育研究センター  
水素エネルギー国際研究センター  
次世代燃料電池産学連携研究センター  
水素材料先端科学研究センター  
都市研究センター  
最先端有機光エレクトロニクス研究センター  
次世代接着技術研究センター

### 先導的研究センター

次世代経皮吸収研究センター

## 工学部等事務部

### 総務課

庶務係  
人事係  
職員係

### 学術研究支援課

学術推進係  
研究契約支援係

### 経理課

経理第一係  
経理第二係  
用度第一係  
用度第二係

### 教務課

教務係  
国際化・留学生係  
学生支援係  
統合新領域係

### 施設部施設管理課

工学系保全係

### 部門事務室

## 工学部技術部

### 製作技術室

設計・加工班  
機器製作班  
電気電子設計製作班

### 設備・情報技術室

大型設備管理班  
AI・メカトロニクス班  
ITエンジニアリング班

### 計測・分析技術室

構造・材料力学班  
観測・解析班  
材料・化学分析班  
ナノ・マイクロ領域技術班

大学院工学研究院			大学院工学府			
材料工学部門	冶金物理化学講座	反応制御学 材料電気化学 融体物理化学	材料工学専攻	冶金物理化学講座	反応制御学 材料電気化学 融体物理化学	
	構造用金属科学講座	材料複合工学 結晶塑性学 構造材料工学		構造用金属科学講座	材料複合工学 結晶塑性学 構造材料工学	
	機能材料科学講座	ナノ材料組織解析学 半導体工学 先端機能材料工学 粉体・粉末冶金工学 エネルギー材料工学 薄膜工学		機能材料科学講座	ナノ材料組織解析学 半導体工学 先端機能材料工学 粉体・粉末冶金工学 エネルギー材料工学 薄膜工学	
	(連携講座)先端ナノ材料工学講座			(連携講座)先端ナノ材料工学講座		
応用化学部門	機能物質化学講座	応用無機化学 有機機能分子化学 機能材料化学 機能物質工学 応用分析化学 有機光エレクトロニクス 化学環境工学	応用化学専攻	機能物質化学講座	応用無機化学 有機機能分子化学 高分子物性学 機能性無機材料学 応用分析化学 有機光エレクトロニクス 化学環境工学 複合分子システム 反応・物性理論 機能有機化学	
	分子生命工学講座	人工酵素化学 バイオミメティクス 分子システム化学 分子情報システム バイオプロセス化学 生体分子システム		分子生命工学講座	人工酵素化学 バイオミメティクス 分子システム化学 分子情報システム バイオプロセス化学 生体分子システム 医用生物物理化学 バイオマテリアル カーボンニュートラル化学 ナノ構造化学	
	(連携講座)先端ナノ材料工学講座			未来化学創造センター (連携講座)先端ナノ材料工学講座		
	化学工学部門	分子・生物システム工学講座		分子物理化学 反応プロセス工学 生物化学工学 生体材料・医用工学 生体機能材料工学	化学工学専攻	分子・生物システム工学講座
	生産システム工学講座	熱プロセス工学 流体プロセス工学 物質移動工学 プロセスシステム工学		生産システム工学講座	熱プロセス工学 流体プロセス工学 物質移動工学 プロセスシステム工学	
機械工学部門	材料力学講座	固体力学 構造材料評価	機械工学専攻	材料・設計システム講座	固体力学 設計工学 構造材料評価 水素適合材料・破壊学 マイクロメカニクス	
	流体工学講座	流体制御 流体科学		流体工学講座	流体制御 流体科学	
	熱工学講座	熱エネルギー変換工学 熱流体物理 熱物理工学		熱工学講座	熱エネルギー変換工学 反応性ガスカ学 エンジンシステム 熱物理工学 熱エネルギー有効利用科学	
	燃料科学講座	反応性ガスカ学 エンジンシステム		機械力学講座	機械波動音響学 機械力学	
	力学システム講座	機械波動音響学 機械力学		制御システム講座	システム工学 制御工学 ヒューマンセンタードロボティクス	
	制御システム講座	システム工学 制御工学 ヒューマンセンタードロボティクス		加工プロセス講座	精密加工学 材料加工学	
	加工プロセス講座	精密加工学 材料加工学		設計工学講座	設計工学 トライボロジー	
	設計工学講座	設計工学 トライボロジー		生体工学講座	熱物質移動 生体機能工学 先端医療デバイス 流体医工学	
	生体工学講座	熱物質移動 生体機能工学 先端医療デバイス 流体医工学		水素利用工学講座	水素利用システム講座	水素利用プロセス 燃料電池システム 水素製造プロセス 先進水素システム
	水素利用工学講座	水素利用プロセス 燃料電池システム 水素貯蔵システム 水素機能材料学			水素貯蔵システム講座	水素貯蔵システム
	(寄附講座) 医工連携・健康長寿学講座				水素材料・設計学講座	トライボロジー 固体力学 水素機能材料学
					水素熱流体工学講座	熱流体物理 反応性ガスカ学

大学院工学研究院		
航空宇宙工学部門	航空宇宙熱・流体力学講座	推進工学 流体力学 熱工学・応用物理学
	航空宇宙機構造強度講座	軽構造システム工学 航空宇宙材料工学
	航空ダイナミクス講座	誘導・制御工学 飛行力学
	宇宙システム工学講座	宇宙機ダイナミクス 宇宙輸送システム工学
	(連携講座) 航空技術連携講座	
エネルギー量子工学部門	原子核・量子線工学講座	応用原子核物理・電磁解析 量子線物理計測
	核エネルギーシステム学講座	原子力エネルギーシステム 原子炉物理及び核融合理工学
	エネルギー物質科学講座	放射線物性工学 エネルギー創生材料学
	応用物理学講座	物性物理学 応用物理学 量子計算科学
海洋システム工学部門	船舶海洋性能工学講座	船舶海洋流体工学 船舶海洋運動制御工学
	船舶海洋構造工学講座	構造システム工学 生産システム工学
	海洋システム設計学講座	船舶設計・海洋環境情報学 機能システム工学 海洋エネルギー資源工学
	(寄附講座) 船舶海洋人材育成講座	システム計画学
地球資源システム工学部門	地球工学講座	応用地質学 物理探査学 地球熱システム学
	資源システム工学講座	資源開発工学 岩盤・開発機械システム工学 資源処理・環境修復工学
	エネルギー資源工学講座	エネルギー資源工学
	(特定教育研究講座) 国際連携資源フロンティア教育講座	
社会基盤部門	構造および地震工学講座	構造解析学 地震工学
	建設設計材料工学講座	建設設計工学 建設材料システム工学
	地盤学講座	地盤工学 地圏環境システム工学 防災地盤工学
環境社会部門	都市システム学講座	都市・交通工学 国土政策・防災学 景観学
	水圏持続学講座	環境流体力学 流域システム工学 沿岸海洋工学 生態工学
	水・資源循環システム学講座	都市環境工学 資源循環・廃棄物工学 水圏環境工学
	(寄附講座) 資源循環IoTシステム講座	
共同研究部門	海域港湾環境防災共同研究部門	

大学院工学府		
航空宇宙工学専攻	航空宇宙熱・流体力学講座	推進工学 流体力学 熱工学・応用物理学
	航空宇宙機構造強度講座	軽構造システム工学 航空宇宙材料工学
	航空ダイナミクス講座	誘導・制御工学 飛行力学
	宇宙システム工学講座	宇宙機ダイナミクス 宇宙輸送システム工学
量子物理学専攻	原子核・量子線工学講座	応用原子核物理・電磁解析 量子線物理計測
	核エネルギーシステム学講座	原子力エネルギーシステム 原子炉物理及び核融合理工学
	エネルギー物質科学講座	放射線物性工学 エネルギー創生材料学
	応用物理学講座	物性物理学 応用物理学 量子計算科学
船舶海洋工学専攻	船舶海洋性能工学講座	船舶海洋流体工学 船舶海洋運動制御工学
	船舶海洋構造工学講座	構造システム工学 生産システム工学
	海洋システム設計学講座	船舶設計・海洋環境情報学 機能システム工学 海洋エネルギー資源工学
	(寄附講座) 船舶海洋人材育成講座	システム計画学
地球資源システム工学専攻	地球工学講座	応用地質学 物理探査学 地球熱システム学
	資源システム工学講座	資源開発工学 岩盤・開発機械システム工学 資源処理・環境修復工学
	エネルギー資源工学講座	エネルギー資源工学
共同資源工学専攻	国際戦略資源工学講座	
土木工学専攻	構造および地震工学講座	構造解析学 地震工学
	建設設計材料工学講座	建設設計工学 建設材料システム工学
	地盤学講座	地盤工学 地圏環境システム工学 防災地盤工学
	都市システム学講座	都市・交通工学 国土政策・防災学 景観学
	水圏持続学講座	環境流体力学 流域システム工学 沿岸海洋工学 生態工学
	水・資源循環システム学講座	都市環境工学 資源循環・廃棄物工学 水圏環境工学
	(寄附講座) 資源循環IoTシステム講座	

### 部門・専攻外組織

大学院工学研究院(部門に属さない)	大学院工学府(専攻に属さない)
(連携講座) 理研連携講座	エネルギー国際教育講座 (連携講座) 理研連携講座

## 教職員数

令和4年5月1日現在

教員										職員						合計		
教授		准教授		講師		助教		准助教		小計		事務系職員		技術系職員			小計	
男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		男	女
97	4	79	6	0	0	87	7	0	0	263	17	36	82	79	7	115	89	484

非常勤職員	特任教授	特任准教授	特任講師	特任助教	その他	合計
	0	5	0	20	166	191

## 学生数

[工学府]

令和4年5月1日現在

専攻名	定員	修士課程			定員	博士後期課程			
		現員				現員			
		1年次	2年次	合計		1年次	2年次	3年次	合計
材料工学専攻	43	45	46	91	10	8	8	0	16
応用化学専攻	68	84	76	160	18	27	17	0	44
化学工学専攻	30	36	32	68	8	9	1	0	10
機械工学専攻	73	97	91	188	16	8	11	25	44
水素エネルギーシステム専攻	35	40	34	74	9	5	7	14	26
航空宇宙工学専攻	30	36	38	74	10	7	3	12	22
量子物理学専攻	30	32	23	55	10	6	3	0	9
船舶海洋工学専攻	25	27	26	53	8	6	3	0	9
地球資源システム工学専攻	20	28	22	50	8	12	8	20	40
共同資源工学専攻	※20	16	16	32	-	0	0	0	0
土木工学専攻	52	70	64	134	16	19	19	0	38
(物質創造工学専攻)	-	0	4	4	-	0	6	17	23
(物質プロセス工学専攻)	-	0	0	0	-	0	0	7	7
(材料物性工学専攻)	-	0	0	0	-	0	1	11	12
(化学システム工学専攻)	-	0	1	1	-	0	1	14	15
(建設システム工学専攻)	-	0	3	3	-	0	7	8	15
(都市環境システム工学専攻)	-	0	3	3	-	0	1	21	22
(海洋システム工学専攻)	-	0	2	2	-	0	3	8	11
(エネルギー量子工学専攻)	-	0	4	4	-	0	1	8	9
合計	※426	511	485	996	113	107	100	165	372
	416	(66)	(53)	(119)		(51)	(58)	(83)	(192)

( ) を付した専攻は、学府の改組により、学生募集を停止したものである。  
現員の ( ) を付したものは、留学生数で内数。  
※本学及び北海道大学の総計

[工学部]

令和4年5月1日現在

学科群・学科名	定員	現員				
		1年次	2年次	3年次	4年次	総計
I群	<115>	119	151	-	-	270
II群	<144>	154	185	-	-	339
III群	<171>	184	218	-	-	402
IV群	<108>	110	137	-	-	247
V群	<46>	47	53	-	-	100
VI群	<147>	154	-	-	-	154
電気情報工学科	153	6	10	-	-	16
材料工学科	53	4	3	-	-	7
応用化学科	72	9	5	-	-	14
化学工学科	38	-	2	-	-	2
融合基礎工学科	57	3	3	-	-	6
機械工学科	135	10	11	-	-	21
航空宇宙工学科	29	1	-	-	-	1
量子物理学工学科	38	-	1	-	-	1
船舶海洋工学科	34	1	1	-	-	2
地球資源システム工学科	34	1	-	-	-	1
土木工学科	77	11	6	-	-	17
建築学科	58	6	7	-	-	13
(建築学科)	-	-	-	59	75	134
(電気情報工学科)	-	-	-	170	215	385
(物質科学工学科)	-	-	3	183	186	372
(地球環境工学科)	-	-	3	165	185	353
(エネルギー科学科)	-	-	-	98	120	218
(機械航空工学科)	-	-	4	182	223	409
合計	778	820	803	857	1004	3484
		(22)	(27)	(48)	(47)	(144)

( ) を付した学科は、学部の改組により、学生募集を停止したものである。  
定員の ( ) を付したものは、学科群毎の募集人員で合計からは除く。  
現員の ( ) を付したものは、留学生数で内数。

## 留学生の国別内訳

令和4年5月1日現在

国名等	人数		国名等	人数		国名等	人数		国名等	人数	
	工学府	工学部		工学府	工学部		工学府	工学部		工学府	工学部
アジア	インド	4	5	アジア	香港		1	アフリカ	マダガスカル共和国		1
	インドネシア	29	19		台湾	3	2		マラウイ	1	1
	カンボジア	2	1		中国	160	30		モーリシャス共和国	1	1
	スリランカ	4	1		トルコ	1	1		モザンビーク	2	2
	タイ	4	15		ウガンダ	1	1		ルワンダ	1	1
	バキスタン		2	エジプト	4	1	イタリヤ		1	1	
	バングラデシュ	14	1	ガボン	1	1	ウズベキスタン		4	4	
	フィリピン	1	1	カメルーン		1	カザフスタン		1	1	
	ベトナム	7	3	ケニア	10	10	フランス		1	1	
	マレーシア	6	3	ジブチ共和国	1	1	アラブコロンビア共和国		3	3	
	ミャンマー	1	1	ジンバブエ	1	1	パレスチナ		1	1	
	モンゴル	5	16	タンザニア		1	イラン		1	1	
	ラオス	2	2	ナイジェリア	1	1	エクアドル		1	1	
	韓国	27	36	ボツワナ共和国	5	5	ニカラグア		1	1	
	合計									316	145

## 学位授与状況 (博士)

令和3年度

専攻名	物質創造工学	物質プロセス工学	材料物性工学	化学システム工学	建設システム工学	都市環境システム工学	海洋システム工学	地球資源システム工学	エネルギー量子工学	機械工学	水素エネルギーシステム	航空宇宙工学
課程博士	18	8	5	11	12	12	7	15	5	12	6	3
内訳	社会人	2	5	1	4	3	5	3	1	0	4	0
	留学生	10	2	2	3	9	6	4	13	3	2	2
論文博士	0	0	0	0	3	1	1	0	1	0	0	0

## 卒業生・修了生の進路状況

令和3年度

	進学	就職	その他	合計
学部卒業生	699	112	23	834
修士課程修了者	38	430	12	480
博士後期課程修了者	4	97	17	118

## 就職先業種別内訳

令和3年度

業種	学部卒業生	修士課程修了者	博士後期課程修了者
農業、林業	1	0	0
鉱業、採石業、砂利採取業	1	4	1
建設業	20	47	4
製造業	20	251	33
電気・ガス・熱供給・水道業	10	32	0
情報通信業	17	30	0
運輸業、郵便業	5	10	0
卸売業、小売業	2	3	0
金融業、保険業	1	4	0
不動産業・物品賃貸業	5	1	0
学術研究、専門・技術サービス業	6	11	12
生活関連・娯楽サービス業	1	0	0
教育・学習支援業	0	6	30
医療・福祉	0	1	0
複合サービス事業	1	4	0
サービス業	1	2	0
公務	16	6	1
上記以外の業種	5	18	16
合計	112	430	97

## 主な就職先

令和3年度

工学部	民間企業	九州電力、福岡地所、中国電力ネットワーク、西日本高速道路、サイバーエージェント、電源開発、大林組、三菱商事、日産自動車、日本航空、東レ
	公務員等	国土交通省、内閣府沖縄総合事務局、東京都庁、兵庫県庁、岡山県庁、大分県庁、熊本県庁、松山市役所、福岡市役所
工学府(修士)	民間企業	川崎重工業、京セラ、九州電力、日本製鉄、日本工営、東京エレクトロン、日産自動車、旭化成、IHI、三菱重工業、クボタ
	公務員等	国土交通省、防衛装備庁、広島県庁、海外の機関(カンボジア)
工学府(博士後期)	民間企業	住友金属鉱山、三菱ガス化学、昭栄化学工業、JFEスチール、理化学研究所、日本原子力研究開発機構、コニカミノルタ、三菱重工業、トヨタ自動車、第一三共、日立製作所
	学校(教員含む)	九州大学、早稲田大学、東京大学 海外の機関(中国、韓国、インドネシア、ケニア、バングラデシュ、エジプト、マラウイ、カナダ)
	公務員等	量子科学技術研究開発機構 防衛装備庁



キャンパスを歩く学生たち



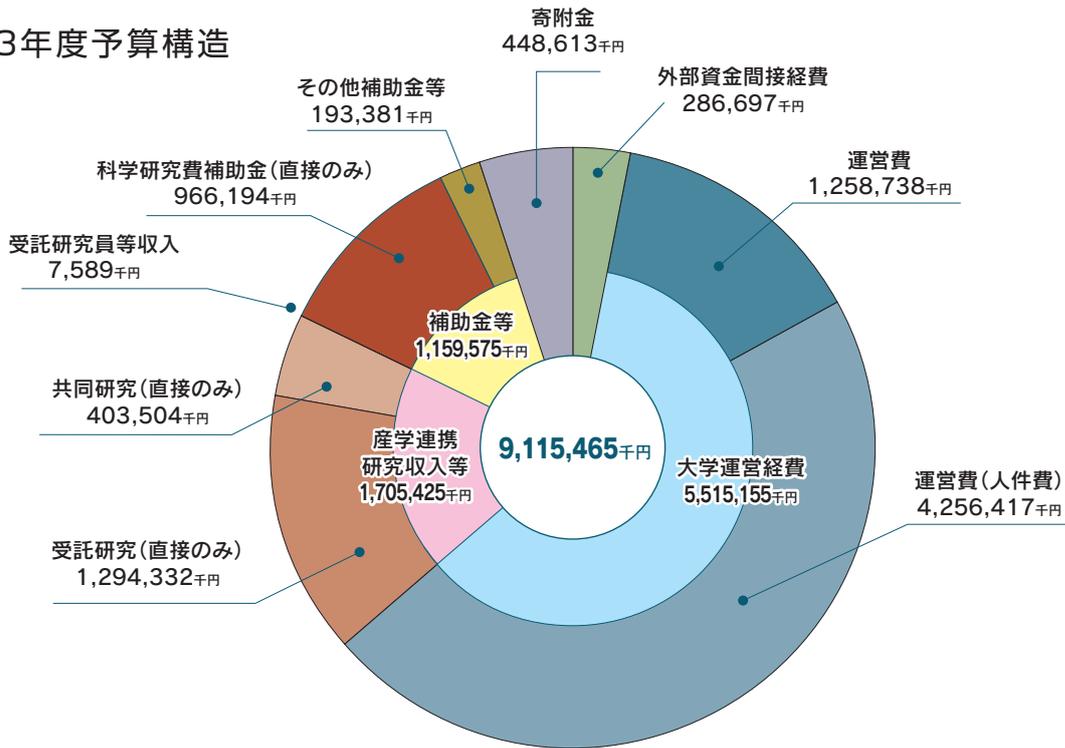
ビッグどら(食堂)

部局間交流協定

令和4年5月1日現在

国名等	大学名	締結年月日 (学術)	締結年月日 (学生)	
インド	インド工科大学グアハティ	2018. 10. 1		
	インド工科大学デリー校	2020. 7. 1	2020. 7. 1	
	インド工科大学マンティ校	2020. 12. 1	2020. 12. 1	
インドネシア	ハサヌディン大学工学部	2008. 12. 2 2018. 12. 2 (更新)	2008. 12. 2 2018. 12. 2 (更新)	
	バジャジャラン大学地質学部	2009. 7. 23 2019. 7. 23 (更新)	2009. 7. 23 2019. 7. 23 (更新)	
	テイボネゴロ大学工学部および数理学部、及び大学院	2009. 8. 8 2019. 8. 8 (改定)	2009. 8. 8 2019. 8. 8 (改定)	
	ポゴール農科大学	2008. 2. 26 2018. 2. 26 (更新)	2008. 2. 26 2018. 2. 26 (更新)	
	セバラスマレット大学工学部	2017. 4. 12 2022. 4. 12 (更新)		
韓国	世宗 (セジョン) 大学校	2010. 8. 17 2015. 8. 17 (改定)	2010. 8. 17 2015. 8. 17 (改定)	
	蔚山科学技術大学校 機械・航空・原子力工学部及び理学部	2019. 3. 25	2019. 3. 25	
カンボジア	カンボジア工科大学	2012. 7. 18 2017. 7. 18 (改定)	2012. 7. 18 2017. 7. 18 (改定)	
タイ	スラナリー工科大学理学部、工学部	2010. 2. 19 2020. 2. 19 (更新)	2010. 2. 19 2020. 2. 19 (更新)	
	キングモック工科大学 トンブリ校 工学部	2019. 6. 19	2019. 6. 19	
	キングモック工科大学 ラートクラバン校 工学部	2020. 2. 19	2020. 2. 19	
台湾	国立台北科技大学工学院		2019. 8. 1	
	国立中興大学 理学部	2019. 7. 1	2019. 7. 1	
	逢甲大学理工学部	2019. 12. 1		
中国	西安建築科技大学	1982. 7. 16 2022. 1. 18 (更新)	2012. 1. 18 2022. 1. 18 (更新)	
	大連理工大学		2012. 12. 26 2017. 12. 26 (更新)	
	武漢理工大学	2021. 3. 15	2021. 3. 15	
	中国地質大学地球科学府地球科学学院	2018. 11. 29	2018. 11. 29	
バングラデシュ	バングラデシュ工科大学 建築・計画学部、土木工学部	2018. 12. 1	2018. 12. 1	
ベトナム	ハノイ鉱山・地質大学	2011. 3. 7 2016. 3. 7 (更新)	2011. 3. 7 2016. 3. 7 (更新)	
	ホーチミン市校工科大学情報科学工学部、化学工学部、機械工学部、電気・電子工学部、土木工学部、応用科学部、環境自然資源工学部、地質・石油工学部、交通学部及び材料工学部	2011. 3. 31 2019. 2. 1 (更新)	2011. 3. 31 2019. 2. 1 (更新)	
	ベトナム地質鉱物資源研究所	2016. 5. 27		
マレーシア	マレーシア工科大学	2010. 5. 31 2020. 5. 31 (更新)	2010. 5. 31 2020. 5. 31 (更新)	
	ペトロナス工科大学	2016. 7. 1		
	マラ工科大学	2019. 1. 1	2019. 1. 1	
	マレーシア科学大学 物質・鉱物資源工学部	2011. 11. 11 2019. 11. 22 (更新)	2011. 11. 11 2019. 11. 22 (更新)	
モンゴル	モンゴル科学アカデミー 植物研究所	2009. 9. 21 2019. 9. 21 (更新)		
イギリス	ケンブリッジ大学材料科学科	2014. 2. 4 2020. 2. 4 (更新)		
ウズベキスタン	タシケント灌漑・土地改良研究機関 灌漑・水問題研究所	2013. 1. 31 2018. 1. 31 (改定)		
	ナボイ州立鉱山大学 ウズベキスタン日本青年技術革新センター	2022. 2. 4	2022. 2. 4	
スウェーデン	ルンド大学工学部	1993. 5. 25 2019. 6. 24 (更新)	1993. 8. 26 2019. 6. 24 (更新)	
	リンシェーピング大学理工学部	2010. 8. 20 2020. 8. 20 (更新)	2010. 8. 20 2020. 8. 20 (更新)	
チェコ	オストラバ工科大学	2008. 5. 16 2018. 5. 16 (更新)	2008. 5. 16 2018. 5. 16 (更新)	
ドイツ	ドイツ人工知能研究所	2012. 7. 31 2017. 7. 31 (改定)	2015. 3. 31 2017. 7. 31 (改定)	
	カイザースラウテルン工科大学			
	ゲオルグ・アグリコラ工科大学	2019. 6. 30	2019. 6. 30	
ノルウェー	ノルウェー科学技術大学 自然科学部及び工学部	2019. 10. 1	2019. 10. 1	
フィンランド	アールト大学 工学部	2018. 12. 1	2018. 12. 1	
フランス	クレルモン・オーヴェルニュ国立理工科大学	2021. 4. 1	2021. 4. 1	
	国立トゥールーズ電気電子情報流体通信工学院	2006. 9. 29 2017. 6. 16 (改定)	2006. 9. 29 2017. 6. 16 (改定)	
	国立応用科学院リヨン校	2007. 10. 26 2017. 10. 26 (改定)	2007. 10. 26 2017. 10. 26 (改定)	
	パリ国立高等鉱業学校	2011. 8. 26 2018. 7. 1 (更新)	2011. 8. 26 2018. 7. 1 (更新)	
ポーランド	クラクフ工業大学	2019. 10. 1	2019. 10. 1	
アフリカ	アルジェリア	ホウアリ・ブーメディエン理工大学 地球科学地理学地域マネージメント学部	2010. 12. 10 2015. 12. 10 (改定)	2010. 12. 10 2015. 12. 10 (改定)
	エジプト	マンスーラ大学工学部	2010. 12. 30 2020. 12. 30 (更新)	2010. 12. 30 2020. 12. 30 (更新)
	ザンビア	ザンビア大学鉱山学部	2006. 8. 10 2018. 12. 1 (更新)	2006. 8. 10 2018. 12. 1 (更新)
	マラウイ	マラウイ大学	2019. 12. 1	
北米	アメリカ	テキサスA&M大学 建築学部	2017. 8. 1	2017. 8. 1
	コロラド鉱山大学	2018. 8. 29	2018. 8. 29	
オセアニア	オーストラリア	ロイヤルメルボルン大学 工学部および理学部	2019. 9. 1	2019. 9. 1

## 令和3年度予算構造



## 科学研究費補助金

令和3年度

種目	件数	直接経費(千円)	間接経費(千円)
特別推進研究	0	0	0
新学術領域研究	16	57,690	15,207
学術変革領域研究A	11	73,865	19,820
基盤研究S	5	58,300	16,080
基盤研究A	34	218,563	60,060
基盤研究B	89	306,467	87,794
基盤研究C	69	59,610	17,707
挑戦的研究(開拓)	5	21,500	6,450
挑戦的研究(萌芽)	30	63,100	18,930
研究活動スタート支援	8	8,900	2,670
若手研究A	0	0	0
若手研究	29	36,800	11,040
特別研究員奨励費	33	29,305	900
特別研究員奨励費(外国人)	10	7,100	0
国際共同研究加速基金	10	24,544	7,240
研究成果公開促進費	0	0	0
特別研究促進費	0	0	0
奨励研究	1	450	0
<b>計</b>	<b>350</b>	<b>966,194</b>	<b>263,898</b>

## 産学連携研究収入

令和3年度

区分	件数	直接経費(千円) 直接経費のみを計上
受託研究(直接経費のみ)	149	1,294,332
共同研究(直接経費のみ)	188	403,504
<b>計</b>	<b>337</b>	<b>1,697,836</b>

## 寄附金収入

令和3年度

区分	件数	金額(千円)
受入総数	298	448,613

## その他補助金等

令和3年度

区分	件数	直接経費(千円) 直接経費のみを計上
受入総数	89	193,381



Green House



日本一の大水晶



フーコーの振り子

## 学部の変遷

明治44年	大正9年	昭和4年	昭和14年	昭和24年	昭和34年	昭和44年	昭和54年
明治44.1 九州帝国大学設置				昭和22.10 九州帝国大学は九州大学に改称 昭和24.5 新制九州大学設置 昭28.4 新制九州大学大学院設置			
明治44.1 九州帝国大学工科大学設置 大正8.4 九州帝国大学工科大学は九州帝国大学工学部となる 昭和22.10 九州大学工学部となる							
明治44.3 土木工学科設置					昭和38.4 水工土木工学科設置		
明治44.3 探鉱工学科設置						昭和51.4 資源工学科に改組	
	大正9.10 造船工学科設置			昭和21.1 工業力学科に改組 昭和22.7 応用力学科に改組	昭和31.4 航空工学科に改組		
明治44.3 機械工学科設置					昭和33.4 生産機械工学科設置 昭和37.4 動力機械工学科設置		
明治44.3 電気工学科設置						昭和46.4 情報工学科に改組	
	昭和20.6 通信工学科設置				昭和34.4 電子工学科設置		
明治44.3 応用化学科設置					昭和32.4 合成化学科設置		
明治44.3 冶金工学科設置					昭和36.4 鉄鋼冶金工学科設置 昭和35.4 化学機械工学科設置		
				昭和29.4 建築工学科設置		昭和42.4 応用原子核工学科設置	

## 大学院の変遷

昭和28.4 大学院工学研究科設置							
冶金学専攻							
応用化学専攻							
				昭和36.4 合成化学専攻設置			
				昭和39.4 化学機械工学専攻設置			
				昭和40.4 鉄鋼冶金学専攻設置			
土木工学専攻							
						昭和42.4 水工土木学専攻設置	
造船学専攻							
鉱山工学専攻							昭和54.4 資源工学専攻に改組
						昭和46.4 応用原子核工学専攻設置	
応用物理学専攻							
応用力学専攻							
機械工学専攻							
					昭和38.4 生産機械工学専攻設置		
					昭和41.4 動力機械工学専攻設置		
電気工学専攻							
					昭和38.4 電子工学専攻設置		
					昭和40.4 通信工学専攻設置	昭和49.4 情報工学専攻に改組	
				昭和35.4 建築学専攻設置			
						昭和50.4 材料開発工学専攻設置	
						昭和52.4 エネルギー変換工学専攻設置	
						昭和53.4 分子工学専攻設置	
							昭和54.4 大学院総合理工学研究科に移行
							昭和56.4 熱エネルギーシステム工学専攻設置



大正3年 九州帝国大学工科大学正面

## 附属施設等の変遷

昭和49.4 学部附属分析機器センター設置	昭和57.4 廃止
	昭和58.4 学部附属超電導マグネット 研究センター設置

平成元年	平成11年	平成22年	令和元年
平成12.4 学府・研究院制度の創設 平成16.4 国立大学法人九州大学の発足 平成17.10 伊都キャンパスへ移転開始 平成23 創立百周年を迎える			
平成5.4 建設都市工学科に改組	平成10.4 地球環境工学科に改組		令和3.4 学士、修士6年一貫型教育の導入による改組
平成4.4 船舶海洋システム工学科に改組			令和3.4 船舶海洋工学科 地球資源システム工学科 土木工学科 に改組
平成5.4 機械工学科に改組 平成5.4 知能機械工学科に改組 平成5.4 機械エネルギー工学科に改組	平成11.4 機械航空工学科に改組		令和3.4 機械工学科 航空宇宙工学科 に改組
平成8.4 電気情報工学科に改組			
平成3.4 応用物質化学科に改組 平成2.4 材料工学科に改組	平成9.4 物質科学工学科に改組		令和3.4 材料工学科 応用化学科 化学工学科 に改組
	平成10.4 エネルギー科学科に改組		令和3.4 融合基礎工学科 量子理工工学科 に改組
平成6.4 材料プロセス工学専攻に改組 平成7.4 機能物質化学専攻に改組 平成7.4 分子システム工学専攻に改組 平成6.4 材料物性工学専攻に改組	平成9.4 大学院重点化による改組(平成11.4 完了) 物質創造工学専攻 物質プロセス工学専攻 材料物性工学専攻 化学システム工学専攻	平成12.4 学府・研究院制度創設により 大学院工学科に改組 物質創造工学専攻 物質プロセス工学専攻 材料物性工学専攻 化学システム工学専攻	令和3.4 学士、修士6年一貫型教育の導入による改組 材料工学専攻 応用化学専攻 化学工学専攻 に改組
平成8.4 船舶海洋システム工学専攻に改組	平成10.4 建設システム工学専攻 都市システム工学専攻 都市環境システム工学専攻 海洋システム工学専攻 に改組	建設システム工学専攻 都市環境システム工学専攻 海洋システム工学専攻	土木工学専攻に改組 船舶海洋工学専攻に名称変更
	平成10.4 地球資源システム工学専攻に改組	地球資源システム工学専攻	
			平成29.4 九州大学大学院 工学府・北海道大学大学院 共同資源工学専攻 設置
	平成10.4 エネルギー量子工学専攻に改組	エネルギー量子工学専攻	量子理工工学専攻に名称変更
平成8.4 航空宇宙工学専攻に改組	平成11.4 航空宇宙工学専攻に改組	航空宇宙工学専攻	
機械工学専攻 知能機械工学専攻 機械エネルギー工学専攻	平成11.4 機械科学専攻 知能機械システム専攻 に改組	機械科学専攻 知能機械システム専攻	平成22.4 機械工学専攻 水素エネルギーシステム 専攻 に改組
平成8.4 大学院システム情報科学研究科設置により廃止			
	平成10.4 大学院人間環境学研究科設置により廃止		
昭和61.4 大学院総合理工学研究科に移行		平成12.4 学府・研究院制度創設により 大学院工学研究院に改組 化学工学部門 応用化学部門 材料工学部門 建設デザイン部門 環境都市部門 海洋システム工学部門 地球資源システム工学部門 エネルギー量子工学部門 航空宇宙工学部門 機械科学部門 知能機械システム部門	平成24.4 社会基盤部門に改組 平成24.4 環境社会部門に改組 平成20.4 機械工学部門に改組
昭和62.4 学部附属地熱開発センター設置	平成10.4 廃止	平成13.4 九重地熱・火山研究観測ステーション設置(院内措置)	
昭和63.4 学部附属環境システム工学研究センター設置	平成11.4 研究科附属施設に移行 平成10.4 学部附属環境システム科学研究センターに改組	平成12.4 研究院附属施設に移行 平成20.4 研究院附属循環型社会システム工学研究センターに改組	平成30.4 研究院附属環境工学研究教育センターに改組 平成24.4 研究院附属アジア防災研究センター設置 平成20.4 工学府附属ものづくり工学教育研究センター設置
平成4 学部附属環境システム工学研究センターに改組	平成5.4 学部附属超伝導科学研究センターに改組	平成11.4 システム情報科学研究科附属施設に移行	平成22.4 工学系国際 交流支援室設置 平成28.4 工学部技術部設置 平成30.11 工学研究院評価報告室設置 平成31.4 工学研究院附属 小分子エネルギーセンター設置 令和3.4 工学研究院附属 次世代エネルギーデバイス 研究センター設置 工学部及び大学院工学府に 国際推進室を設置

# ITO CAMPUS MAP



KYUSHU UNIVERSITY

伊都キャンパス：〒819-0395 福岡市西区元岡744

## WEST ZONE ウェストゾーン

- ① アーチェリー場
- ② 野球場 ♥
- ③ 陸上競技場 ♥
- ④ 弓道場
- ⑤ 松濤錬成場
- ⑥ 課外活動施設Ⅱ ♥
- ⑦ 課外活動施設Ⅲ ♥
- ⑧ 小体育館 ♥
- ⑨ 加速器・ビーム応用科学センター(CE70)
- ⑩ 船舶海洋性能工学実験棟(EN80)
- ⑪ 先進航空宇宙工学実験棟(EN70)
- ⑫ 衛星通信実験棟(IE20)
- ⑬ アグリ・バイオ研究施設(AG40) ♥
- ⑭ パブリック3号館(CF3)  
事務支援センター(検収センター)
- ⑮ 次世代エネルギー実証施設(FE)
- ⑯ テニスコート
- ⑰ 生物多様性保全ゾーン
- ⑱ 生物環境利用推進センター(AG10) ♥
- ⑲ 水環境実験棟・森林保全実験棟(AG11)
- ⑳ カイコバイオリソース研究施設(AG22)
- ㉑ 植物圃場施設 ♥
- ㉒ 九大あかみっくらんたん(食堂)
- ㉓ 工学系実験施設群
- ㉔ 工学系総合研究棟(コラボ・スペース)
- ㉕ 鉄鋼リサーチセンター(EN40)
- ㉖ 水素ステーション(HY40)

- ㉗ 水素エネルギー国際研究センター(HY30)
- ㉘ 水素材料先端科学研究センター(HY10) ♥
- ㉙ ウェスト5号館 ♥  
アグリダイニング(食堂・売店・書店)
- ㉚ ウェスト4号館(2階/就職情報室・就職相談室) ♥
- ㉛ ウェスト3号館 ♥  
キャンパスライフ・健康支援センター伊都ウェストゾーン分室  
(健康相談室、学生相談室)
- ㉜ ウェスト2号館(売店・書店) ♥
- ㉝ ウェスト1号館 ♥
- ㉞ ビッグどら(食堂・売店・書店)
- ㉟ 西講義棟、E-café(喫茶)
- ㊱ 石のアート QIAO(チャオ)
- ㊲ 総合学習プラザ
- ㊳ ビッグリーブ(食堂・喫茶・売店)
- ㊴ 理系図書館、Libca(喫茶) ♥
- ㊵ 情報基盤研究開発センター棟 ♥
- ㊶ 低温センター(伊都地区センター)(CE60.61)
- ㊷ 超伝導システム科学研究センター  
先進電気推進飛行体研究センター(CE50.51)
- ㊸ 先端物質化学研究所(CE41) ♥
- ㊹ 附属環境工学研究教育センター(CE40)
- ㊺ アイソトープ総合センター伊都地区実験室(CE31)
- ㊻ 超高压電子顕微鏡棟(超顕微解析研究センター)(CE20.21)



- 食堂等
- 駐車場
- ATM
- 売店
- 書店
- 多目的トイレ
- 車両入口
- 車両出口
- バス停
- AED

- 自動車入構ゲート**
- 中央西ゲート
  - 守衛所 (一時入構手続き窓口)
  - 守衛所/中央東ゲート (一時入構手続き窓口)
  - 北ゲート (パスカードのみ)
  - 守衛所/南ゲート (一時入構手続き窓口)
  - 東ゲート (パスカードのみ)

- ④7 パブリック1号館 (CF1)
- ④8 国際宇宙惑星環境研究センター (CE10)
- ④9 稲盛財団記念館 ♥
- ⑤0 寿司・和食 ダイニング KIHACHI (食堂)
- ⑤1 エネルギーセンター
- ⑤2 パブリック4号館 (CF4) ♥
- ⑤3 韓国研究センター
- ⑤4 エコセンター
- ⑤5 パブリック2号館 (CF2) ♥
- ⑤6 童夢カフェ (喫茶)
- ⑤7 キャンパス・コモン

**CENTER ZONE センターゾーン**

- ⑤5 給水センター、環境安全センター ♥
- ⑤6 センター5号館 ♥
- ⑤7 センター6号館
- 伊都診療所
- ⑤8 ビッグさんど (食堂・売店) ♥
- キャンパスライフ・健康支援センター 本部相談室 (健康相談室、学生相談室、コーディネーター室)
- ⑤9 ビッグオレンジ (情報発信拠点・売店) ♥
- ビッグオレンジレストラン (食堂)
- ⑥0 センター1号館 ♥
- キャンパスライフ・健康支援センター センター1号館分室 (インクルージョン支援推進室)
- ⑥1 センター2号館 ♥
- 嚶鳴 (おうめい) 天空広場、Q-Commons Qasis (食堂)
- ⑥2 センター3号館 ♥
- ⑥3 センター4号館 ♥
- ⑥4 椎木講堂 ♥
- 大学本部 ♥
- ITRI・ITO (食堂)
- ⑥5 フジギャラリー
- ⑥6 テニスコート

- ⑥7 課外活動施設 I
- ⑥8 総合体育館 ♥
- ⑥9 多目的グラウンド
- ⑦0 皎皎舎 (書店・売店)
- ⑦1 亭舎
- ⑦2 ドミトリー I (学生寄宿舍) ♥
- ⑦3 ドミトリー II (学生寄宿舍) ♥
- ⑦4 ドミトリー III (学生寄宿舍) ♥
- ⑦5 伊都ゲストハウス
- ⑦6 日本ジョナサン・KS・チョイ文化館
- ⑦7 カーボンニュートラル・エネルギー国際研究所 (I<sup>2</sup>CNER) 第1研究棟 ♥
- ⑦8 カーボンニュートラル・エネルギー国際研究所 (I<sup>2</sup>CNER) 第2研究棟 ♥
- ⑦9 次世代燃料電池産学連携研究センター (NEXT-FC)
- ⑧0 共進化社会システムイノベーション施設 ♥

**EAST ZONE イーストゾーン**

- ⑧1 イースト1号館 (売店、2階/就職情報室・就職相談室、イーストゾーン・キャンパスヘルスサポートルーム、石ヶ原古墳跡展望展示室) ♥
- L-café (喫茶)
- ⑧2 イースト2号館 ♥
- ⑧3 大講義室 I
- ⑧4 大講義室 II
- ⑧5 ビッグスカイ (食堂)
- ⑧6 中央図書館 ♥
- 情報統括本部 iCube サポートデスク
- 男女共同参画推進室
- 教材開発センター
- 記録資料館
- 童夢カフェ (喫茶)
- 生活支援施設 (書店・売店)
- 石ヶ原古墳横穴式石室の移築展示
- ⑧8 建築構造実験棟 (HE10)
- ⑧9 建築環境実験棟 (HE20)
- ⑨0 AMS専攻実験棟 (IS10)
- ⑨1 行動実験棟 (HE30)
- ⑨2 総合臨床心理センター (HE40) ♥
- ⑨3 伊都協奏館 (学生寄宿舍) ♥
- ⑨4 多目的グラウンド ♥
- ⑨5 テニスコート
- ⑨6 水田圃場施設 ♥

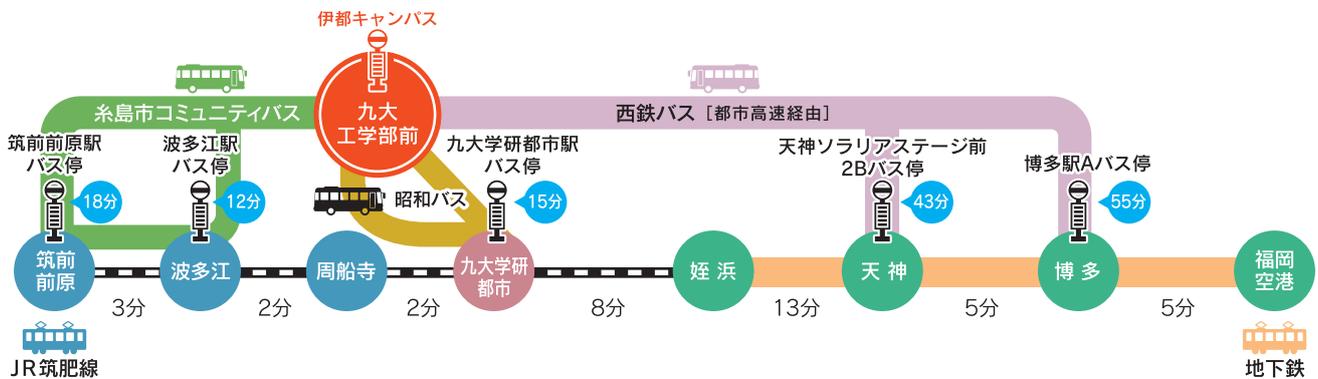
(2022年4月現在)



## アクセスマップ



## 交通アクセス



お問い合わせ

九州大学 大学院工学研究院・大学院工学府・工学部

〒819-0395 福岡市西区元岡744

TEL 092-802-2708 FAX 092-802-2712

<https://www.eng.kyushu-u.ac.jp/>



編集・発行 九州大学 大学院工学研究院・大学院工学府・工学部

印刷・制作 株式会社ミドリ印刷